

藤沢市議会議員

佐野ひろし

市政報告会



令和5年3月13日

JAさがみ御所見支店

- **この四年間何をやってきた？**

市議会議員って何やってるの

- **地域の意見を市へ届ける**

多かった陳情、ご意見はどうなった

- **これからの藤沢市北部地域は？**

いづみ野線延伸、少年の森、新産業の森など

佐野ひろし 四年間の活動

＜議会での活動＞

- ▶ 令和元年4月 藤沢市議会議員選挙初当選 2920票
- ▶ 令和元年6月 北部振興の取組みに関する一般質問
- ▶ 令和元年12月 暮らしやすさを高める取組みに関する一般質問
- ▶ 令和2年9月 北部地域活性化その他に関する一般質問
- ▶ 令和3年9月 健やかな子どもたちの成長について



佐野ひろし 四年間の活動

＜委員会での活動 令和元年度～2年度＞

- ▶ 令和元年5月 子ども文教常任委員会 委員
- ▶ 災害対策等特別委員会 委員
- ▶ 令和元年9月 平成30年度決算特別委員会 委員
- ▶ 令和2年3月 令和2年度予算等特別委員会 委員
- ▶ 令和2年5月 建設経済常任委員会 委員
- ▶ 補正予算常任委員会 委員
- ▶ 行政改革等特別委員会 委員
- ▶ 令和2年6月 議会史編さん委員会 委員
- ▶ 令和3年3月 令和3年度予算等特別委員会 委員

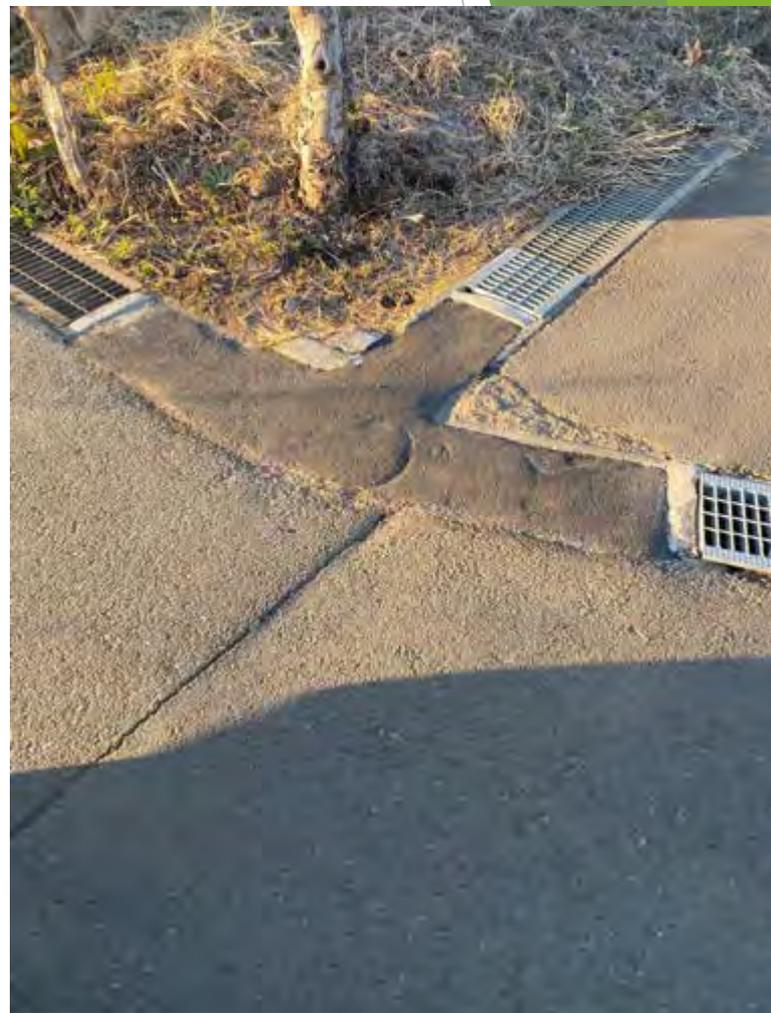
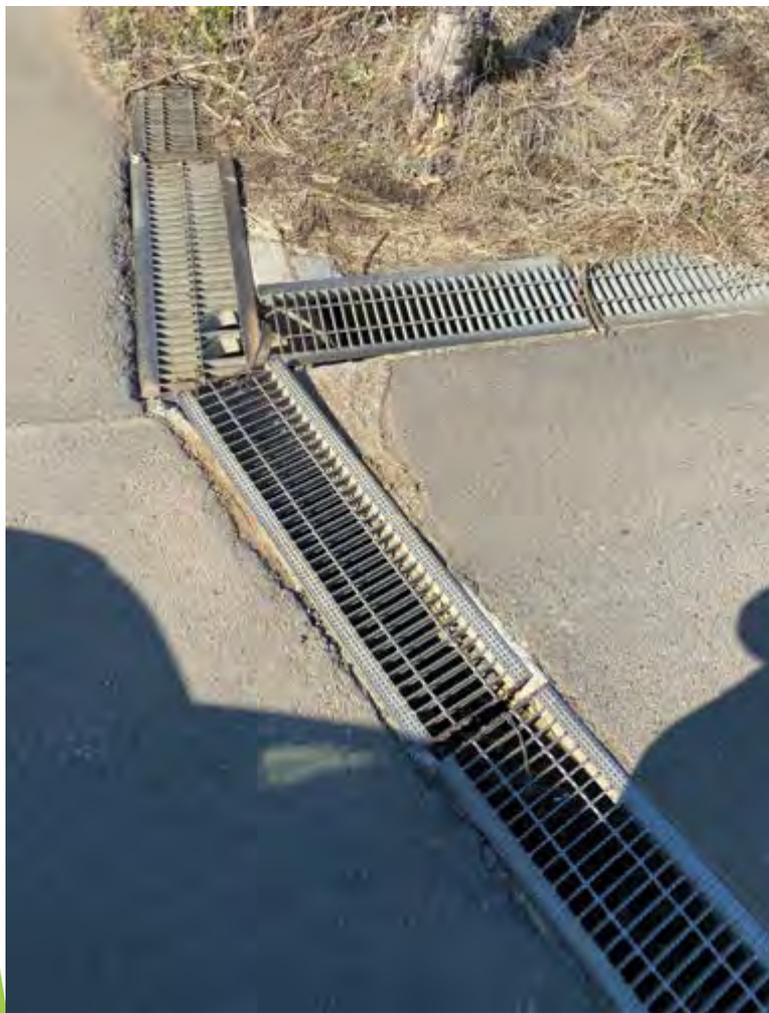
佐野ひろし 四年間の活動

＜委員会での活動 令和3年度～4年度＞

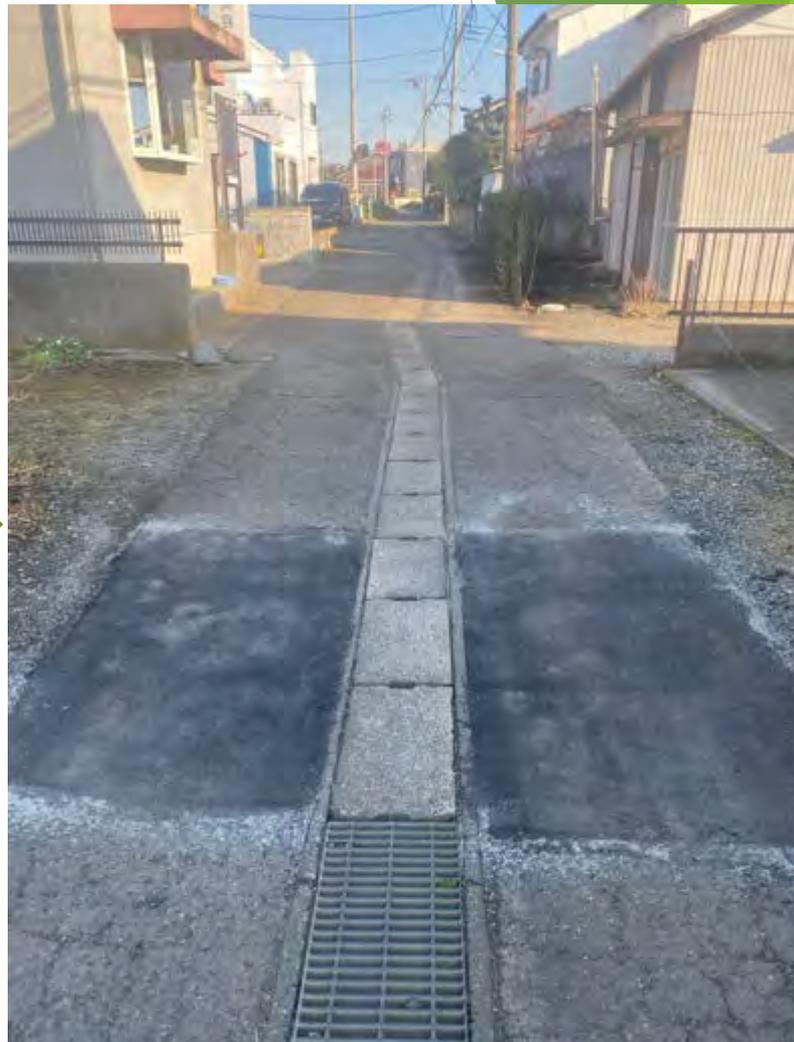
- ▶ 令和3年5月 総務常任委員会 委員
- ▶ 補正予算常任委員会 副委員長
- ▶ 藤沢都心部再生・公共施設
再整備特別委員会 委員
- ▶ 議会運営委員会 委員
- ▶ 令和3年9月 令和2年度決算特別委員会 委員
- ▶ 令和4年5月 厚生環境常任委員会 副委員長
- ▶ 補正予算常任委員会 委員
- ▶ 災害対策等特別委員会 委員
- ▶ 令和4年9月 令和3年度決算特別委員会 委員

皆様のご意見・要望は市に伝えました

<舗装の割れ・へこみなど>



皆様のご意見・要望は市に伝えました



皆様のご意見・要望は市に伝えました



皆様のご意見・要望は市に伝えました



皆様のご意見・要望は市に伝えました



皆様のご意見・要望は市に伝えました



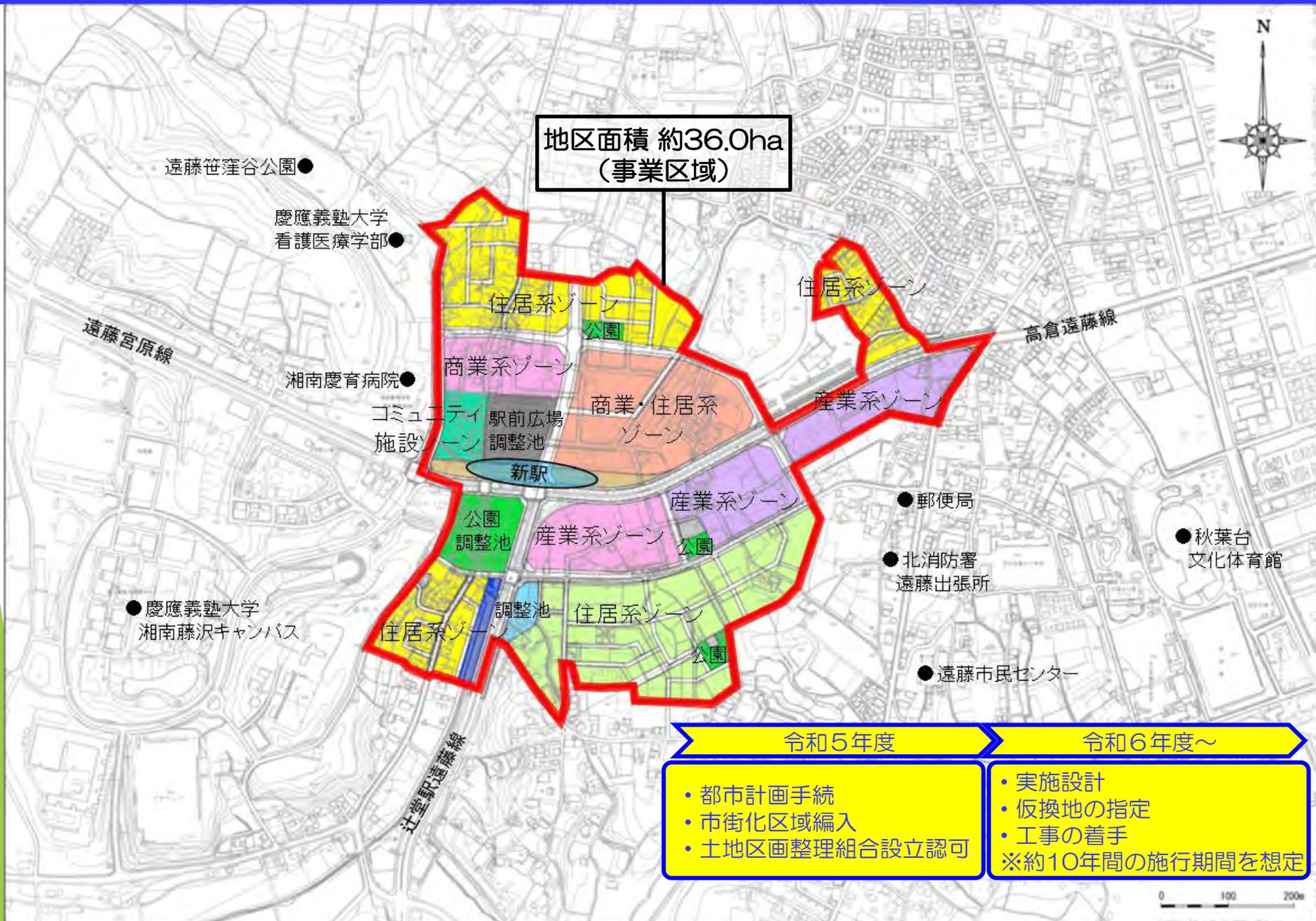
皆様のご意見・要望は市に伝えました



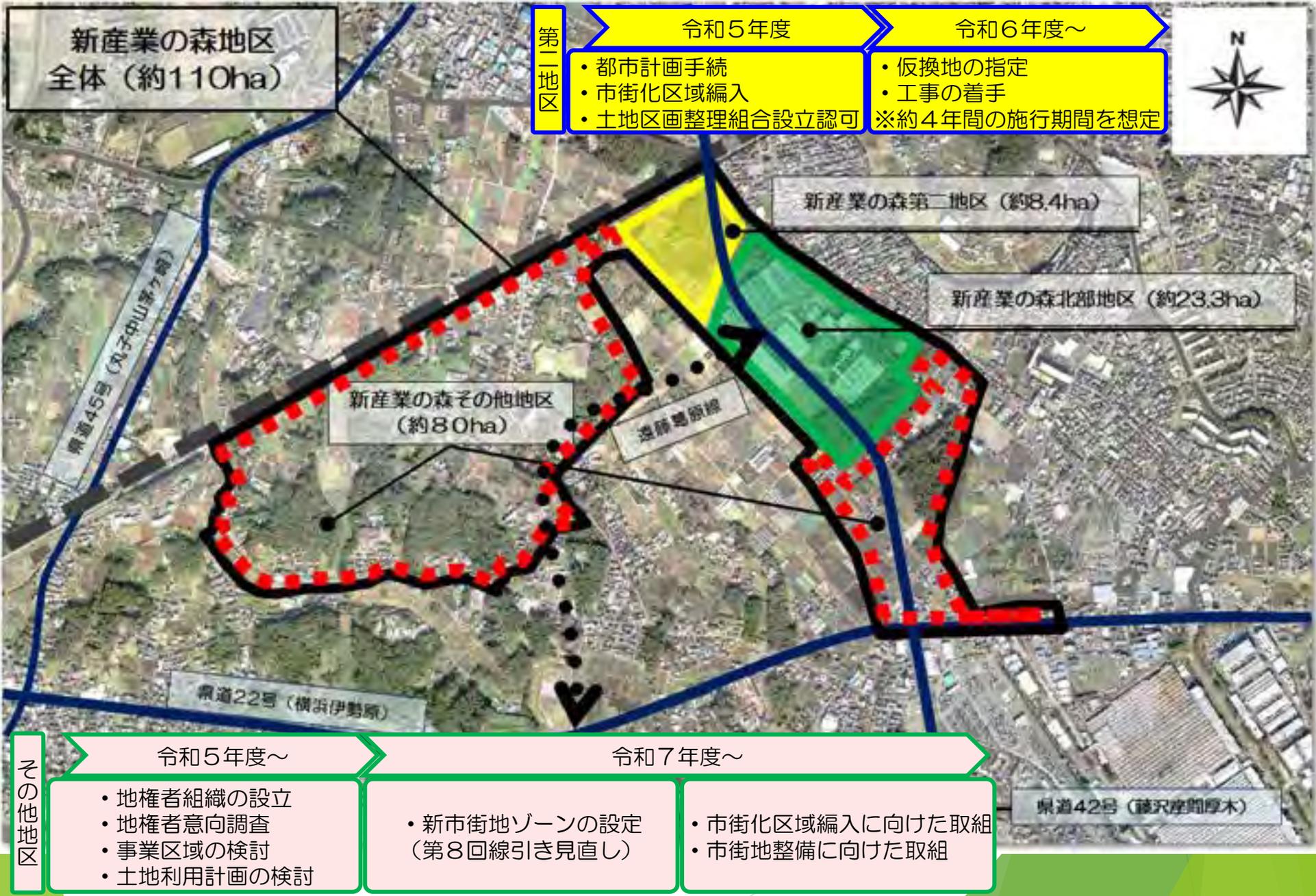
皆様のご意見・要望は市に伝えました



健康と文化の森地区のまちづくりについて



新産業の森地区のまちづくりについて



新産業の森地区
全体 (約110ha)

第一地区

令和5年度	令和6年度～
<ul style="list-style-type: none"> 都市計画手続 市街化区域編入 土地区画整理組合設立認可 	<ul style="list-style-type: none"> 仮換地の指定 工事の着手 <p>※約4年間の施行期間を想定</p>

新産業の森第二地区 (約8.4ha)

新産業の森北部地区 (約23.3ha)

新産業の森その他地区 (約80ha)

遠藤島線

その他地区

令和5年度～	令和7年度～
<ul style="list-style-type: none"> 地権者組織の設立 地権者意向調査 事業区域の検討 土地利用計画の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 新市街地ゾーンの設定 (第8回線引き見直し) 市街化区域編入に向けた取組 市街地整備に向けた取組

県道42号 (藤沢産間厚木)

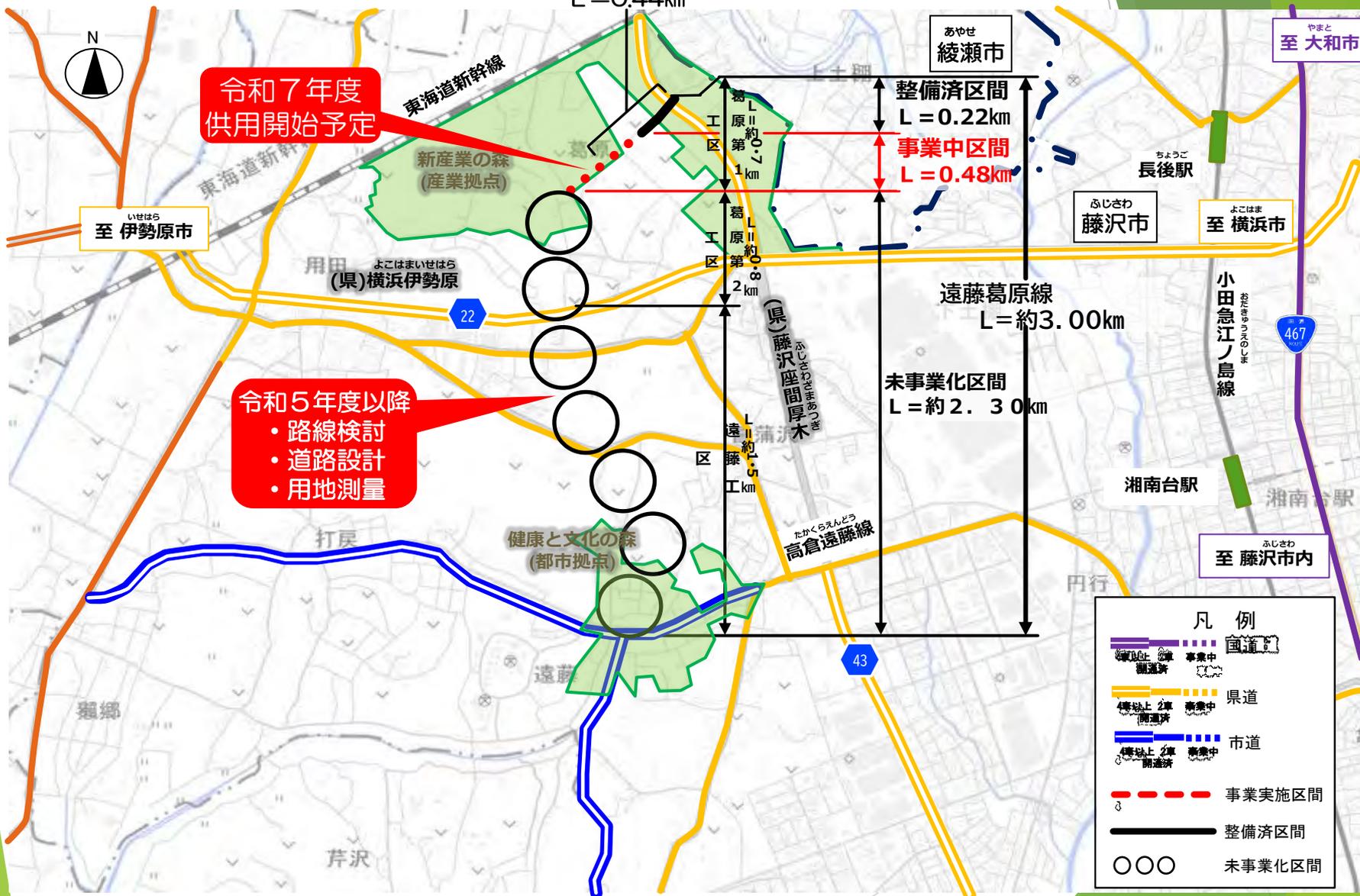
県道22号 (横浜伊勢原)

県道45号 (丸子中山平ヶ崎)

遠藤葛原線新設事業について

令和4年度末までの整備延長

L=0.44km



令和7年度
供用開始予定

令和5年度以降
 ・路線検討
 ・道路設計
 ・用地測量

神奈川新聞に紹介されました

公民連携で再整備

アウトドアアームを踏まえ、幅広い年齢層の利用を想定。豊かな自然環境や幹線道路へのアクセスの良さといった地域特性を生かし、市北部地域の活性化につながる施設にリニューアルする考えだ。(宮崎 功一)

1980年の開設から40年以上が経過した藤沢市の青少年野外活動施設「少年の森」(同市打戻)の再整備を巡り、市は公民連携の手法を基本に、事業提案(プロポーザル)方式で事業者を選定することを決めた。昨今の

藤沢「少年の森」事業者選定へ



豊かな自然の中にある少年の森＝藤沢市

少年の森は約9万5千平方メートルの敷地に、アスレチックコースや木製遊具、キャンプ場、宿泊研修施設が配置。入場料、駐車場使用料は無料。市内をはじめ近隣地域から家族連れや青少年団体など年間5万～6万人が訪れている。

14年度の約6万6千人をピークに漸減傾向をたどっており、地元団体が市に施設の活性化を要望。市は北部地域全体の活性化の観点から民間活力の導入も視野に施設を再整備する方針を決め、地元説明会を開催。地権者や地元住民からは、地域の人が利用できる施設にしてほしい、子どもが安心して遊べる場所を残してほしい」として、

しいといった意見が出された。21年度には事業化のアイデアを聞き取る「サウンディング型市場調査」を実施。参加事業者からは「日帰りや泊まりがけで気軽に楽しむことができるオートキャンプを中心とした事業を行いたい」「青少年だけでなく成人を含めた一般の人を対象とした施設にしたい」といったアイデアが出された。また、周辺に立地する農園や乗馬クラブとの連携や地場産食品の活用など地域特性を生かす提案も出された。

市は地元の意見や同調査を踏まえ、再整備の方向性について公民連携の手法を前提に、専門知識や経験を有する民間事業者に対し施設整備の基本方針・構想の策定を業務委託することが望ましいと判断。プロポーザル方式で事業者を選定し、23年度に選定する。

以降、24年度にかけて基本方針・構想を策定。設計・整備工事を経て28年に新施設の運営を開始する計画だ。市青少年課は「事業としての持続可能性、創造性、採算性を高められるよう、基本方針・構想策定を行う事業者が再整備後の運営まで担うことを視野に入れた」としている。

本格的なアスレチックコース



市北部地域活性化に期待

神奈川県新聞に紹介されました



神奈川県新聞 2023.2.2

ご清聴、ありがとうございました

